



発行所 福井県大野郡 和泉村公民館 印刷所 松浦印刷所

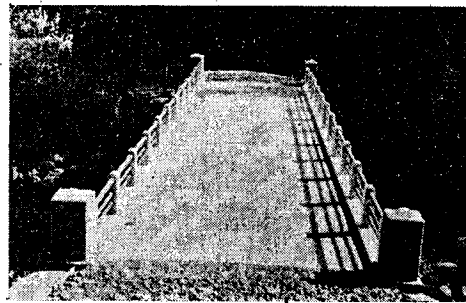
永久橋もお目見え

林道復旧事業はかどる

林道の橋梁は従来木造橋が原則であつたため、被害を受けた場合も又木造の原形復旧を常としていた。このため二年連続の大災害には、林道の橋梁は全滅とも云ふべき被害を蒙つたのであり、今後の維持管理に非常な憂慮すべき点があつたのであります。

賀正 1961年

昨年(昭和35年)の林野庁査定において木造橋は不適当であるから永久橋として架替する様再査定の準備を申付られ、県から西技術師の来村を依頼し、我々担当



(写真は完成した入谷橋)



谷口さん 是が原料となる磁鉄石の埋蔵ありては、技術者を招聘し、九十年生れの今年六十五才、十三才

この道三十年

谷口市松氏

地元産業開発に半生を！ 昭和二十年の終戦と同時に「独専禁止法」に依り一時休山の已むなきに至つた時、整理委員の一員として、休山の整理と、再開の運動等、言語に絶する苦心をされた事は、今もつて忘れぬ事の出づる。この情熱は今後も大いに働いておられる。

強調目標

健全な健康 災害に明け災害に暮れた六〇年を心の底から忘れて、幸多かれと祈る一九六一年の正月は、真に楽しい一家団楽の健全な健康を選びましょう。

うし年の新年に因んで

石神慶之助

和泉村の皆様に対し賀正の慶びを申し御幸福をお祈り申上げ、年始の言葉と致します。走馬燈は刻々と緩やかに休みな

御勅題若

石神楽山 謹詠

コジケ彫る若宮殿に春の駒 若返る宇宙の夢は五里霧中 牛は人類にとりては貴重な動物に因みて述べたいと思ひます。

部落探訪

原家と白龍大明神

上大納原五百里氏宅(原家)の元祖は御龜山天皇時代に始まり以来血統は連続として現在の五百里氏で二十一代の経歴を保つ旧家であり、その先祖は檜洲張魔の國

俳壇

石神 楽山

号重ね台風俄か骸晒す 復興の発破は天に霧ちらす 深川の楽譜紅葉に揺れて来る 映さえて紅葉は天に濃くうすく 夢に浮く二線の汽笛枯尾花

新入学の子をもつ家庭へ

お祭り申したとの事であり、原家では毎月一日、十五日には御酒を供え一同お参りし感謝の日暮を送つていられますが、探訪した筆者に原五百里師(僧侶)は不思議な御縁とお念仏申しつづつての詩を詠んで下さいました。

人のうらみ

(十一月分)

- 野尻 佐藤 義継 松一長男
- 朝日 新屋 雅子 則男長女
- 下原 石神 辰秋 清一郎長男
- 箱ヶ瀬 三島 淳子 雄一郎次女
- 伊勢 鎌倉登喜子 信市長女
- 【死亡】
- 大谷 若山定次郎 七七才
- 下山 東 浅 蔵 七三才
- 箱ヶ瀬 美濃島岩太郎七〇才



年頭の「ごあいさつ」

村長 杉本又助

村長の任期が満了致しましたが、不敏をかえりみず重ねて立候補致しまして、村民御一同様の全面的御支援のもと、平和裡に再就任致しました。此の点厚く御

礼申上げます。さて連年の災害を受けた当村に、一陽来福、新しい年が訪れまじ、皆様と共に「今年こそは」とハリ切つて立ち向つて行きたいと存じます。その第一は災害復旧の事業であり、その第二にあげられるものは電源開発の問題でございます。その紙の表と裏との様なもので、仮に今これを「和」紙とでも名づけてしまふか。この紙は村民一人一人の間に、村と県との間に一枚一枚入れておくなら

稀有大雪害を蒙り一時中折の重大危機に類したが、会社の復旧に全力を捧げ、早期に操業開始出来たのも氏の献身的努力のためであつた昭和十六年会社の経営が三井系となり、日支事変、大東亜戦争等の波に乗り、増産につぐ増産となつて日産四五〇屯の生産をなす大鉱業所となり、地元の経済の発展は一に中龍山に托する事大なるものがあつた。

お祭り申したとの事であり、原家では毎月一日、十五日には御酒を供え一同お参りし感謝の日暮を送つていられますが、探訪した筆者に原五百里師(僧侶)は不思議な御縁とお念仏申しつづつての詩を詠んで下さいました。

長野と後野の両部落地籍内一四米、八五米の夫々えんていを築造し、大野市湯上地籍に於て発電する一大ダム計画が北陸電力株式会社によつて発表されるや、あたかも之に挑戦するが如く電源開発株式会社のロックフィル長野ダム葛ヶ原ダム計画等が公表され、生後ようやく一才を迎え合併の村造りに全村民必死の覚悟で立ち向かわなければならぬ時が時であつただけに、その受けたショックも正に重大であつた。早速公民館の公報委員会「いすみ」のトップにこれをあつてから、十二部落湖底に埋没せしめと云う見出しで報道致しました。二、三年の年月を経過し、其の間村会に於けるダム対策特別委員会を設け、補償問題などの研究調査を行つたり早期完成。納得のいく補償等二〇項目に亘る陳情書を作製し中央、地方の関係官庁及び両社にうったえ又特に北電側の出席を求めて計画に対する事情を協議会の席上御説明願つたが何んか漠然として生活基盤の不安感を覚え焦燥と不安はつるばかりであつたが、ようやく此の頃村民も連年の大災害による物心両面の受けた大ダメージを乗り越えて安定感を取り戻しつゝあるやに感じられる。其の時折りの出来事等は従来其の都度「いすみ」に掲載して御知らせして来ましたが、ひし／＼と時期が迫つた感を感じるとき「いすみ」の綴込みを繰りながら整理を繰り、更に今迄机上プランであつた電源開発KKが北陸電力KKと共同調査の名に於て、過ぐる年の秋頃より現地調査が始められ両社共に最終計画案の完成が真近の様に聞及びましたので、十三日午後一時公報編集委員会の席上へ、長野に最近完成した北陸電力株式会社九頭龍川調査所の所長渡辺義男氏を招き、調査上の諸問題について対談した結果を要約して御知らせして参考に供したいと思ひます

対談

一九六一年の焦点

ダム問題について 関係者はかく語る

九頭龍ダム調査測量のため土地立入りについでに覚書第六項により、報告することゝなつて居りますが、村民は色々知りたい事もあると思ひますし委員会の立場に於ておき、一月月の「いすみ」に掲載したので御招きした訳ですがどうぞよろしく聞 調査の結果に伴う結論はいつ頃出るのでしょうか。

今年も立入りの許可をもらつたのも遅れたし気になりながら中間報告もせずに居りましたが、済まないと思つて居ります。当初北電だけが調査する積りで八月にかゝり九月中旬までに長野ダム関係の調査を進めておりましたが、九月十七日に通産省から電発と共同調査をする様指示され、尙調査方式は北電が主体となる処の九頭龍川調査について電発との間に覚書を交換したのであります。

今までは電発は殆んど机上調査に基き実地調査を主体として十月上旬から測量にかゝつたのです。電発案長野ダムは十米高く、而もロックフィルダムですから五六〇米もの調査を行つて居ります。角野部落の発電所位置の調査結果は好ましくなかつたので、電発の安田氏が来られて角野橋の上流

勝原附近の調査については以前に北電で調査した資料がありますので補足の程度で間に合います。請負させた業者に活潑性がなかつた為調査の遅れが少く遅れて年を越すものがあるかも知れませんが許可して貰いたいと思ひます。ロックフィル材料の量と質の調査については、十月中旬に電発の三名の人が影路から野尻地内の約二区に亘つて壘削り約五〇カ所の横穴六本を掘つておられ、更に横穴は一カ所取捨する所がないと土が均一でないで混合する必要があり最終結論は御母衣に送つて試験の結果でないといふからいふ訳です。

お聞きして居りますとそれでは今年の調査について北電自体は余り大きい調査がなかつたこと云う事ですか。答 主として骨材の調査をやつたのです。コンクリート材料は野尻大谷附近の田や川を壘削りして試験室に送つたり、現場でふるいにかけたり、谷戸口のヘンマン岩を採石につかう為、原石を東京に送つたりして居りますので、測量と

後野についてはそうすると位置の問題だけで済む。北電案は最少限のものだから出来る。出来ると云う事ですね。最少限と云う表現は適當かどうかかわりませんが、鉄道や其の他の事も加味して最終的なものと話が進められて居りますが、絶対うごかせないものでは無いので、私は技術屋だから余りそうゆう事で追いつめられると困るので、最後に機械を注文するまでは検討は続くもので、役所から注文が出る場合もありません。

費がかさみますので、両方の経済的な点をもう少し検討しなければなりません。大変きつぱらい事をお聞きするのですが、実際の工事を行なわれる様になつて補償の場合、一般的に北電は電発より総べての補償が少いのではないかと云う不安がありますか、此の点についてどう御考えですか。答 私の方は補償を安くしよう等とは考えていません。むしろ適正と考へて居りますから。

村なら村でまとめて、代表機関で話し合つて行ける方法が合理的であると考へますし、私の会社的主張も代表者と話し合つて、合法的なものを出して行きたいと思つて居ります。私の会社は慎重な人です。だからそういう様に見えるのでしよう。その話は一寸時期的にも早いと思つて居ります。法の立前から両社とも村民が不安に思つて居る事は出来ないと云う事ですか。答 そうです。新規にどん／＼家が建てられて居りますが、こういうものから従来から居住して居る村民の家屋に對して会社はどう御考えですか。

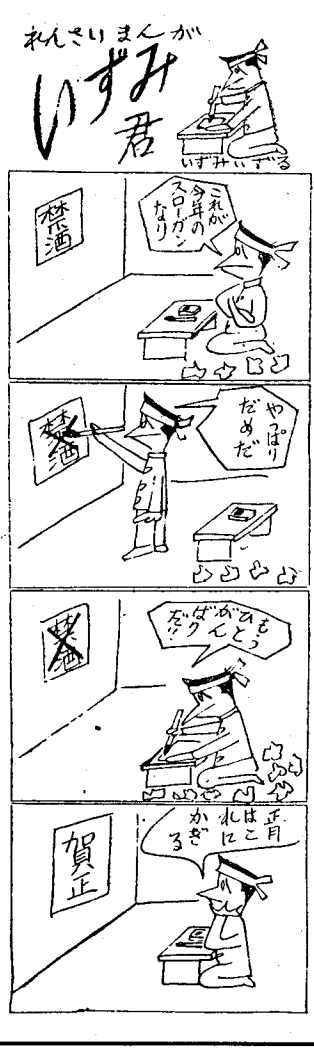
止むなく村を去つて行かなければならぬ者と、臨時的にでも云いますかダムを見込んでの様な居住者と平等では困る。適正な補償は皆様の意見から出るのです。会社は前から生活して居られて水没される方々と相談もし、村当局の御意見も承つて適正なものを出して行きたいと思ひます。本當にこのまじく思ひます。政治的に而も無意味に着工が延引する様なことはありませぬか。答 高度な話になつて来ましたが今の処では電発は調査が一年か半年ずれて居る様ですが、私の方の会社は来年から着工地点として一応準備して居りますが、これも許可がなければ出来ませぬ。政治的に遅らさずと云う事についてですが、総合開発の見地から洪水調節とか色々の問題でダムそのもの、使命が変れば別でしようけれども、今の処は早くやれと云う人が多いのですからそういう事はどうもお忙しい処長時間ありがとうござりました。

一〇〇米の地点を選定し、その測量を終り現在ボーリング実施中で茲の調査が最も遅れて居ります。葛ヶ原ダムの調査については初めから電発北電の共同調査になることが予想されたので、アーチダムとしての測量は少し早く九月末より着手して居るので先月中旬完了し、地質については尙現在横坑を掘つて調査中でありませぬ。更に之に代る地質として下山部落の下で下山ダムサイドとして調査を致して居りますが、調査不充分なため更にやりなおすと云う事のない様に代替地点といえども綿密に測量もボーリングも行って居ります。次に琴洞橋附近の仏原発電所に於ては右岸の谷の上流は川が狭くて一〇何万KWの発電所建設には不適なもので、更に下流の広い所二カ所を調査して居り、測量は本日(十二月十三日)完了の予定で



しては目ばいし事はやつて居ります。横穴の調査の一部が年を越すのみで他は北電も電発も現地調査は終ると解して居ります。調査の終りと云うのは役所に對して実施願書が出せる様になつて居ります。後野のダムサイドの問題が一度も出なかつたのですが、これはどうなんでしょうか。特に可能不可能は。答 後野についてはダムの容積が大きいので色々意見もあつますがこれはダムの形式によつてコンクリートや節約した出来なない事も無いし、今年掘つた横穴は、ダムの位置が昨年までの調査により計画した位置より左岸を更に上流のものつとよい場所にもつてゆけるかどうかを調べるため掘つたのです。少しよくなつておりましたが、最後の過程までセンターはどちらへ振つたらよいか検討を要すると思ひます。

四月以後審議会が行われると思つて居ります。其の時までに両社とも真価のはつきりわかる設計を作り最もよい案で高所から北電が電発かにきまり、水利権も支えられ、審議会できまつて実施願を出す事になるのです。一カ所でも私の会社で水利権を持つて居るとよいのですが、持つて居ないものでしょうか。答 持つて居ないものでしょうか。答 ポーリングも横穴もまだ掘つてないのでこれから調査結果を見なければわかりませんが、見た目はダムの地点としては葛ヶ原より一、二〇〇米の距離でダムの高さが二五米も低く出来ませぬから有望です。しかし水路が一、二〇〇米以上も発電所位置へのびますと、一五〇屯の水路ですから仮に一米一〇〇万円としても二億四千万工



なものを皆さんと相談してきめてゆきたいし、尙むずかしい時には国や県にも入つていってきめてゆきたいと思つて居るので、決して北電は無責任に安んじたり無責任に高くしたりは致しません。どうしても折合わない様な時は裁定を仰ぐと云う事もあると思ひますが、とに角他の発電工事の特例の特例をもち出してこれやれと云われても困ります。そういう事でない限り御心配はないと思ひます。今までは工事を行う地点が両社同じではありませぬしそれに電発は最近もやつて居りますが、北電がやつたのは神通第一神通第二の時しか例になるようなものはないのです。これは昭和十七、八年頃です。昭和八年頃と云う事になります。電発にしても以前のものは安んじもありません。同じ時期に同じ位置でやつて居ればわかり

生産されるもののコストの問題もあつたので、今後無制限に建つと云うのではね。答 移転し得る村造りとか何か権利の獲得の様な考えを持たれても村として禍根をこの事にもないし、村自体がこういう事はない様に自主的にやつてもらつたらと思ひます。

- 年々ふえる年賀状
- 私達の村ではお正月にどれだけの年賀ハガキや、電報が引受けられ配達されたりするのでしようか村内三ツの郵便局で昨年迄の分をそれ／＼調べてもらいました。お年玉のくじに人気があるのでないでしようが、毎年増る一方です。昨年は村民一人当り三枚配達された割合になります。
- ①引受けた年賀ハガキ 四〇、九九八
 - ②配達した年賀ハガキ 六二、三二二
 - ③四、七二二
 - ④五〇、二八九
 - ⑤三六、五三七
 - ⑥一六〇、五三七
 - ⑦七、二八五